

地域銀行の平成 28 年 3 月期決算の概要

1. 損益の状況（銀行単体ベース）

- 実質業務純益は、資金利益の減少等により、前年同期に比べ、1.8%の減益。
- 当期純利益は、与信関係費用の減少及び株式等関係損益の増加等により、前年同期に比べ、10.3%の増加。

（単位：億円）

	26年3月期	27年3月期	28年3月期	前年同期比
業務粗利益	47,808	47,547	46,842	▲ 705
資金利益	41,048	40,242	39,813	▲ 429
役務取引等利益	5,097	5,550	5,471	▲ 79
債券等関係損益	926	909	856	▲ 54
うち、債券等償却	▲ 41	▲ 24	▲ 57	▲ 33
経費	▲ 31,171	▲ 31,357	▲ 30,936	420
実質業務純益	16,636	16,190	15,905	▲ 284
与信関係費用(※)	▲ 1,788	▲ 937	▲ 872	65
株式等関係損益	1,256	1,158	1,609	450
うち、株式等償却	▲ 63	▲ 28	▲ 95	▲ 67
当期純利益	10,709	10,629	11,729	1,100

※ 与信関係費用について、正の値は益を、負の値は損を表す。

（参考）

	26年3月期	27年3月期	28年3月期
貸出金（末残）	225.5兆円	233.8兆円	242.0兆円

2. 不良債権の状況（銀行単体ベース）

- 不良債権額は 27 年 3 月期に比べ減少、不良債権比率も低下。
（いずれも平成 11 年 3 月期の金融再生法に基づく開示以降で最低）

	26年3月期	27年3月期	28年3月期
不良債権額	6.2兆円	5.6兆円	5.2兆円
不良債権比率	2.72%	2.38%	2.13%

3. 自己資本比率の状況（銀行単体ベース）

- 自己資本比率は、27 年 3 月期に比べ、低下。

（国際統一基準行：11行）

	27年3月期	28年3月期
総自己資本比率	14.64%	14.10%
Tier1 比率	13.00%	13.19%
普通株式等Tier1比率	12.96%	13.16%

（国内基準行：95行）

	27年3月期	28年3月期
自己資本比率	10.50%	10.20%

（注1）記載金額・比率は、四捨五入して表示。

（注2）28年3月期の集計対象は106行（地方銀行64行、第二地方銀行41行及び埼玉りそな銀行）

（注3）与信関係費用・不良債権の計数には、再生専門子会社分を含む。

（注4）平成28年3月期より、国内基準行のうち一行が、国際統一基準行に移行。